

解体・破砕工程のGHG排出量削減に向けた具体方策

本資料の構成

1. 「解体・破砕事業者向けGHG排出量削減の手引き(本編・資料編)(案)」の論点
2. 「解体・破砕業者向けGHG排出量算定モデル(案)」の論点

1. 「解体・破碎事業者向けGHG排出量削減の手引き(本編・資料編)(案)」の論点(1/2)

● 作成時のポイント

- R5第1回検討会、その他意見交換でいただいた次のポイントを本手引きに反映させている。
 - 手引き本編の記載内容の根拠(GHG排出削減効果の算定方法、排出量削減の手段のエビデンス等)は、手引き資料編に記載し、より詳細に理解したい事業者にも配慮した。
 - 資源回収インセンティブ制度をはじめとする、自動車リサイクル分野におけるGHG排出量削減に向けた具体施策に伴い、解体・破碎業者が今後どのようなデータを整理・把握すべきか、その把握方法についても述べた。
- プレス設備メーカーヒアリング結果、再利用可能部品のリユース・リサイクルによる素材代替に伴う排出削減効果の試算結果等、本年度の調査結果も入れ込んでいる。
- 今後は、事業者目線でポイントを理解しやすい手引きにすべく、見せ方等の工夫を行う。なお、本書に記載の対応をする意義、それを行うことによるメリット等についても、より伝わりやすい構成・表現に工夫する。

1. 「解体・破砕事業者向けGHG排出量削減の手引き(本編・資料編)(案)」の論点(2/2)

● ご議論いただきたい点

- 事業者目線でポイントを理解しやすい手引きにするため、こういった提示形式が適切であるか。
(下表は提示形式の例)
- CNを目指すにあたり、解体・破砕事業者が排出削減に取り組む意義や期待される貢献について、わかりやすく説明がなされているか。
 - 関連： 資料5-1「3.2 解体・破砕事業者における高度な回収・解体・処理による素材代替に伴う排出削減効果(プラスチック及びガラスの例)」
- CNに向けた取組の第一歩として、事業者が取組を検討しやすい情報量で記載されているか。
 - 関連： 資料5-1「4.2 エネルギー起源排出量の削減のための手段 —主要設備毎の対策事例」

【表 提示形式パターン(案)】

	手引き本編	手引き資料編
パターン① 【今回の形式】	<ul style="list-style-type: none"> Word版 <ul style="list-style-type: none"> ➢ ~10p程度 ➢ 本Word 	<ul style="list-style-type: none"> PPT版 <ul style="list-style-type: none"> ➢ ~30p程度 ➢ 別添PPT
パターン②	<ul style="list-style-type: none"> PPTでのチラシ形式 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 両面1p程度 ➢ 本Wordからの要素抽出 	<ul style="list-style-type: none"> <その1>Word版 <ul style="list-style-type: none"> ➢ ~10p程度 ➢ 本Word <その2>PPT版 <ul style="list-style-type: none"> ➢ ~30p程度 ➢ 別添PPT
パターン③	<ul style="list-style-type: none"> ②同様 	<ul style="list-style-type: none"> PPT版 <ul style="list-style-type: none"> ➢ ~40p程度 ➢ 本Wordと別添PPTの統合版

2. 「解体・破砕業者向けGHG排出量算定モデル(案)」の論点

● 作成時のポイント

- R5第1回検討会、その他意見交換でいただいた次のポイントを本手引きに反映させている。
 - 事業者に使ってもらいやすいモデルにするべく、事業者団体(JAERA/JISRI)と意見交換し指摘点を反映。
 - 事業者に配布することを前提に、IDEAライセンスに関する取扱いを確認中。
- 再利用可能部品のリユース・リサイクルによる素材代替に伴う排出削減効果の試算結果等、本年度の調査結果も入れ込んでいる。併せて輸送・ASR再資源化工程の排出削減効果も参考値として概算ができるようにした。

● ご議論いただきたい点

- 事業者目線で使い勝手がよいものになっているか。
- P5で示した「アップデート版モデル」の内容に加え、今後どのような様式更新や追加機能付与を行っていくと良いか。
- 排出削減効果の提示方法は適切であるか。
 - 関連： 資料5-2「(参考)排出削減効果」シート